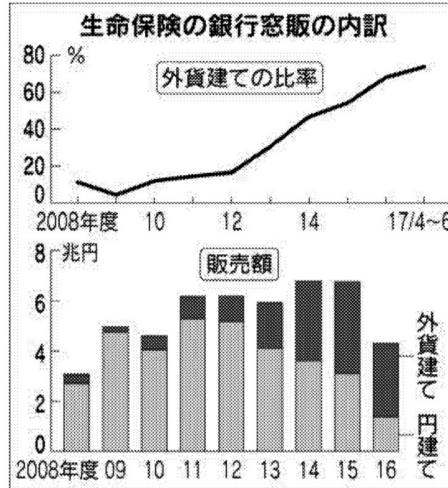


ATTENTION

外貨建て保険には、入ってはいけない！



最近の日経の記事によると、銀行での保険販売に占める米ドルや豪ドルの外貨建て保険の比率が急増し、2017年4月～6月で、実に7割に達したそうです。いよいよ銀行の阿漕(あこぎ)な商売がここまで来たかという感があります。保険は30年、40年生命保険や年金保険という形で長い期間持つことになるため、その間の為替リスクは極めて高くなります。実際に年金や死亡保険金として必要になるお金は米ドルや豪ドルではなく「円」ですが、30年、40年後の米ドルや豪ドルの為替がどの程度になっているかなど、誰にもわかりません。円高になっていけば、保険金や年金を大きく減らし、老後の生活設計が大きく狂います。たとえば想定していたより受取額は半分だったというような類です。また外貨建て保険は、代理店手数料が非常に高く、あるメガバンクでは9.25%のおいしい手数料が入るといふ代物です。円では利率が低すぎて商品として成り立たないので、金利が高い外貨建てであれば、利回りが高く見えて売やすいということです。銀行にとっては「30年、40年後のことなどこっちの知ったことか、あとは野となれ山となれ」なのです。金融庁が問題視している、銀行が盛んに宣伝する実入りのいい金利14%にもなるカードローンと同じで、外貨建て保険は入ってはいけない保険です。

OPINION

ビットコインに近づくなかれ

このところビットコインにまつわる情報を見ない日はありません。ビットコインの分裂騒動、中国政府がビットコイン取引所を閉鎖、それらの動きに敏感に反応するビットコインの取引価格等々、とにかくめまぐるしい動きです。価格の変動が激しく、1年前から7倍も値上がりしています。ビットコインの需要に対して供給が追いつかないから、このような激しい値上がりとなるのでしょうか。

しかし、これは実体経済の貨幣価値とは著しく乖離した動きで、入っている資金には投機目的の資金がほとんどのようです。取引業者は玉石混交で、胡散臭い業者も多いと聞きます。またマネーロンダリングの資金として格好のツールといえます。ビットコイン長者が出て来ているようですが、売買益は申告していないでしょう。

ビットコイン騒動の根底には、いまのところ「格好の儲けるツール」という思惑があります。こういう思惑が多いときには「君子危うきに近寄らず」を決め込むのが一番です。周りの雰囲気や飲み込まれ、痛い怪我をしても、それはまさに「身から出た錆」としかいいようがありません。ビットコインに対する社会的認識が深まり、制度的にも整ったときに純粋に「金儲けではなく、決済の手段として」ビットコインを使うというのが、真つ当なスタンスです。

米国JPモルガンのトップはビットコインを「詐欺」、世界最高の投資家バフェットは「罌気楼」といっています。こういうものに軽い気持ちで足を踏み入れ、怪我をするのは避けたいものです。

MARKET

	(9月末)	(8月末比)
日経平均	20,356.28円	+710.04円 (+3.6%)
NYダウ	22,405.09ドル	+456.99ドル (+2.1%)
米ドル	112.49円	+2.49円 (+2.3%)

今月の言葉:

天を怨みず、人を尤(とが)めず、
下学して上達す。
我を知る者は其れ天か。

一天を怨(うら)みもせず、人をとがめもせず、
[ただ自分の修養につとめて]身近なことを
学んで高遠なことに通じていく。私のことを
分かってくれるものは、まあ天だね。

論語-憲問第十四

今回の衆議院解散は、財政再建放棄の開き直り解散

安倍首相が突如衆議院解散に踏み切りました。また民進党が解党して、希望の党に合流(前原氏がいうだけで、希望の党の小池党首は合流ではないといっています)ということで、風雲急を告げています。安倍首相の解散の大義名分は、国民に、財政黒字化目標を先送りして、消費税増税の増収分の一部を借金返済ではなく、教育の充実に充てることの信を問うことですが、これまでの公約を反故にした開き直り解散のような趣があります。

前回の衆議院解散では、消費税8%から10%への増税の先送りの是非の信を問うということでしたが、今回は20年度に基礎的財政収支黒字化の達成ができないことを、教育の充実に隠れ蓑に通してしまおうという魂胆が見え見えます。

そもそも日本の国家財政は火の車で、国の借金はGDPの2.5倍と途方もない水準です。世界各国が日本の財政状況を懸念する中で、基礎的財政収支の黒字化は、大々的に掲げた国際公約だったはずで、米国は11年の予算管理法に基づき年金などを除く歳出を一律で減らしてきています。またドイツはシュレーダー政権の改革で、社会保障費の大幅減に果敢に取り組み、今ではその改革が実り、ドイツはユーロ圏の優等生として、リーダーの地位を確固としています。

そもそも安倍首相には、財政再建の意識はない感があります。「これまでのいきさつがあるから仕方なく政策として掲げ、あとはその場その場で先延ばし。つけは、自分の

後の政権に回せばいい。」というような考え方です。ややこしい問題は先送りする、その場対応のポピュリスト政権です。

時の政権が自分の延命のためにポピュリスト的政策を掲げるのではなく、真摯に国民に財政再建の理解を求め、後の世代が安心して暮らせる社会をつくるのが、政治家の本来の役割です。それがあまりにも欠けていると、国民が先行きの不安をなくすことは困難で、生活の防御スタンスを持ち続けることになり、いつまで経っても景気は浮上しないという悪循環が続きます。

今回の消費税分の使途の見直しは、2012年の社会保障と税の一体改革の根幹を否定するものです。この一体改革では、財政再建以外では消費税の使途を年金、医療、介護、子育ての4経費に限定し、他の経費への流用をきびしく戒めているのです。教育まで使途が拡充すると、他からも予算要求が強まってくるのが予想されます。たとえば中国、北朝鮮への防衛体制の強化、インフラの老朽化対策、新幹線延伸・港湾拡充などの公共工事などです。

今回の財政健全化計画の大幅な後退は、日本の国としての信頼を大きく損なうものです。今回は、国際的な信頼が問われる重要な転換点になる可能性があります。いずれ遠くない時期に、外国の日本売りとなって出てくるのが大いに懸念されます。

SEMINAR

大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス 代表 尾藤 峰男

日時： 2017年10月28日(土)15:00~17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

受付人数:限定6名

参加費:1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「10月28日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。

Eメール: info@bfsc.jp Tel: 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072

電子メール: info@bfsc.jp